

## 認定こども園さくらが丘

園児数	内容区分 (あてはまるものすべてに○を記入)
368 名	<input type="checkbox"/> 遊びを通して楽しく体を動かすための環境の工夫 <input type="checkbox"/> 多様な体の動きを経験するための園庭や遊具の配置等の工夫 <input type="checkbox"/> 季節や気候等を考慮した計画的な指導計画の作成 <input type="checkbox"/> 体づくりに関する家庭との連携 <input type="checkbox"/> 教職員の資質向上のための取組

### 1 ねらい

- (1) 遊びや運動を通して、心身の調和的な発達を図り、健全な心身の基礎を養う。
- (2) 身近な環境との主体的な関わりを楽しみ、自分の力で何かをやり遂げるような自立の態度を養う。

### 2 実施内容

#### (1) 遊びを通じた取組

##### ア 遊具の設置

園庭には、鉄棒や雲梯などのほか、大型の滑り台や登り棒、ロープ梯子などが供えられ、様々な運動や遊びができる大型遊具が設置されており、保育活動や自由遊びの中で使用している。

##### イ 遊び時間の確保

外で元気に遊ぶことを奨励し、朝の保育活動前、給食後、保育活動後など園児が遊具などを使って自由に園庭で遊ぶ時間を確保している。

#### (2) 保育計画に位置付けられた取組

##### ア 体育教室

外部講師による体育教室を保育活動に位置付け、クラスごとに定期的に行っている。ホールでのマットや跳び箱、鉄棒などを使った様々な体の動き、園庭でのボール遊びなど様々な運動を楽しんでいる。ボール遊びは、日頃の園児の遊びに取り入れられている。

##### イ タオル体操

5, 6, 10月の天気の良い日は、他の活動予定のないクラスの全園児が園庭に出て、アニメ音楽に合わせてタオルを使い様々な体の動きを取り入れた体操を行っている。

##### ウ なわとび大会

例年1月に連続で何回跳べるかを競うなわとび大会を行っている。園児は体育教室や自由遊びの中でなわとびの練習を重ね大会に臨んでいる。大会後も自由遊びの時間になわとびを続け、様々な跳び方に挑戦する姿も見られる。

##### エ マラソン大会

例年2月に園の周囲の道路を走るマラソン大会を行っている。事前に園庭で走る練習を重ね本番に臨んでいる。最後まで走りぬくことを目標にしており、毎年目標をもって臨む園児の姿も見られる。

### 3 主な成果（箇条書きで簡潔にまとめる。）

- 様々な運動や遊びの機会を通して、体を動かすことの面白さや楽しさを体験することができ、自由遊びの時間に園児が進んで遊具を使って体を動かす姿が見られ、心身の健康づくりにつながることが期待できる。
- 運動をする中で経験した自分の記録が伸びる喜び、できなかったことができるようになった達成感、あるいは思うようにできなかった悔しさなどが、新たな意欲や目標をもつことにつながり、子どもの自主的な活動、頑張れ続けようとする態度が見られた。

### 4 資料



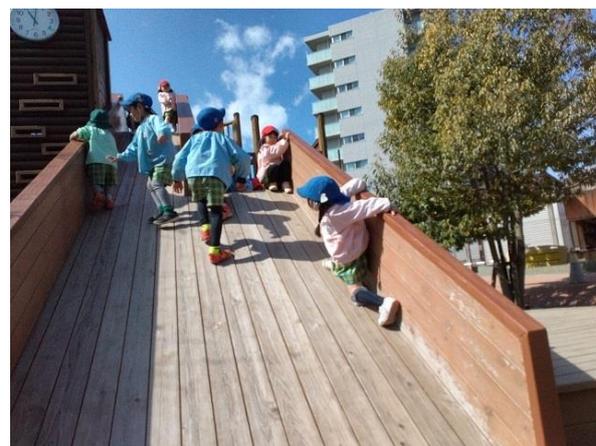
講師を招いてクラスごとに楽しく様々な運動を行う体育教室



園児が大好きなアニメ音楽に合わせて体の曲げ伸ばしなどを行うタオル体操



2歳児から年長児まで寒さに負けず走りぬく冬の恒例行事マラソン大会



長い坂道を登ったり滑り降りたり、園児に大人気の大型遊具